

今月の御教え

今は人代といって、わが力で何事もしている。神が知らせてやることにそむく者がある。神の教えどおりにする者は神になる。昔は神代といい、今は人代である。神代になるように教えてやる。難儀になるのもわが心、安心になるのもわが心からである。

……「天地は語る」第七十二条……

解説

教祖様は日本神話の「神代」になぞらえて、大天地の恩恵を知り、その道理に適った生き方を「神代」それに対して人間中心の勝手な生き方を「人代」と表現されています。例えば、日柄方位の慣習に対して、教祖様は「この広大な天地に筋を引くようにして日柄方位の吉凶を決めて人間生活を厳しく規制し苦しめていく慣習は、天地の道理に合わず、天地の親神様のなされることではない。『日柄方位は見るに及ばず』と教えられたのに、そのことを理解して守られたのは、数多くの参拝者の中でも少数の方々のみでした。それを教祖様は「神が知らせてやることにそむく者がある。神の教えどおりにする者は神になる」と仰せられたのです。ですから、私達は教祖金光大神様の教えを、しっかりと頂き守り抜けば、必ず難は去り、安心の境地に至ることができるのであります。